

## 平成25年度事業計画

### 【概要】

平成24年度の当館展覧会事業は、奈良と京都の関西圏と連携した企画を展開した。春は、奈良県との文化交流協定締結記念とした企画展・写真家入江泰吉との二人展や奈良県立図書情報館長による講演会を開催し、新潟市民に奈良県への関心を向ける契機となった。秋には京都・相国寺承天閣美術館と會津八一記念館との交換展「若冲・応挙の至宝」展（新潟会場）は、普段見ることのない禅文化の美術品に多くの新潟県民が関心を寄せ、「最後の文人・會津八一の世界」展（京都会場）は、會津八一の業績を関西地域中心に広めることが出来た。

25年度展示事業について、秋の特別展では、過去2回開催し好評を博した「街の中の會津八一」を県外編として企画。東京を中心に菓子店、古書店、骨董商、寺院にある會津八一の書作品と其々との繋がりを含めて紹介し、街に息づく八一の姿を改めて顕彰していきたい。

企画展では、春は箏曲家宮城道雄生誕120年を記念した八一との二人展を企画。さらに宮城と交流のあった新潟県人との絡みも紹介したい。夏は、會津八一の旅をテーマに旅先で詠んだ歌や書簡、さらに写真家小林新一をはじめ、旅先で撮影した写真も展示する。冬は、酒の陣とタイアップした形で八一と酒に因んだ漢詩作品を展示し、また本県の酒文化や漢詩文化にも視野を広げる。

その他の事業では、文芸講演会、出前講座、写真コンテスト巡回展など恒常的な普及活動にも取り組みたい。

### 【事業計画の内容】

(ア)展覧会事業 開館日数 274日

	分類	展覧会名 (仮称)	会期	内容
1	企画展	宮城道雄生誕120年 會津八一と宮城道雄	4月5日(金) ～6月30日(日) 76日間	6月23日 新潟市音楽文化会館で開催する宮城道雄演奏会に伴う連携企画。宮城道雄記念館所蔵會津八一作品や宮城道雄の遺品などを借用展示。また宮城の弟子であり、八一の養女蘭にまつわる資料も紹介する。宮城は昭和4年新潟劇場で二葉幼稚園の母の会主催による演奏会に出演している。二葉幼稚園の創設者齋藤正直と交流があったと思われる。新潟と音楽の歴史も視野に紹介したい。
2	収蔵品展	會津八一の旅と出会い 陶芸家齋藤三郎生誕百年	7月5日(金) ～9月29日(日) 75日間	全国各地を回って短歌を詠んだ八一の歌書作品と写真家・故小林新一の写真や旅先で撮影した写真などを組み合わせた展示。また、旅先で出会い「書入陶器」を制作した上越市の陶芸家・齋藤三郎生誕100年にちなみ、八一と齋藤との交流、また齋藤と親交を結んでいた、堀口大學、小杉放庵、濱谷浩、坂口謹一郎、棟方志功などの作品も紹介する。
3	特別展	街の中の會津八一 (県外編)	10月5日(土) ～12月1日(日) 50日間	好評だった「街の中の會津八一」第三弾は県外版。東京・新宿中村屋の看板「中村屋」、大圓寺所蔵の「施無畏」、古書店「一誠堂」の扁額、靖国神社所蔵「道莫大於仁義」など都内にある商店、寺院などが所蔵する八一作品とその繋がりを紹介。 會津八一の歩いた道(東京編)・マップ作成
4	企画展	新潟市・京都市観光文化交流記念 會津八一と酒の文化 同時開催 第7回 写真コンテスト入賞入選作品展	12月21日(土) ～3月23日(日) 73日間	新潟県酒造組合主催「酒の陣」との連携企画。酒にまつわる漢詩を八一が揮毫した書作品を展示。そのほかに、高橋酒造、石本酒造、笹祝酒造、樋木酒造などが所蔵する八一のほか、文人墨客の作品も合わせて陳列。越後が誇る酒と漢学の文化を紹介する。 第7回写真コンテスト入賞入選作品を同時に展示する。

展示替え、研修のための 休館日	7/1 ~ 7/4	4日間
	9/30 ~ 10/4	5日間
	12/2 ~ 12/20	19日間

作品解説会	常設展・企画展	期間中	月2回(第2、4日曜日)	午前11時
	特別展	期間中	毎週土曜、日曜日	午前11時

(イ) 「會津八一の歌を映す」第7回秋艸道人賞写真コンテスト

- ① 公募ポスターと応募用紙の制作と発送 (平成25年4月中)
- ② 審査・結果発表(平成25年12月上旬)
- ③ **表彰式** 平成26年2月上旬

(ウ) その他のイベント ※交渉予定

○八一祭講演会 (「にいがた文化の記憶館」と共催)  
新潟市・奈良県文化交流協定締結2周年、  
「新潟市・京都市観光・文化交流宣言」締結記念  
にいがた文化の記憶館開設記念

「記念講演+舞踊と音楽のうたげ」

出演 講師：石田太一師 (唐招提寺執事)  
演題：唐招提寺と會津八一  
舞踊：三代目藤蔭静樹氏 (舞踊家)  
音楽：武藤宏司氏 (邦楽家) など  
日時：平成25年8月9日 (金) 午後2時～  
会場：新潟市芸術文化会館 能楽堂  
定員：350人  
料金：1000円

特別展講演会① 講師：古田 亮氏 (東京藝術大学大学美術館 准教授)  
演題：新宿中村屋サロンと會津八一  
日時：平成25年10月5日 (土) 午後2時～3時30分  
会場：クロスパルにいがた  
受講料：500円  
定員：150名

特別展講演会② 講師：川島公之氏 (繭山龍泉堂 取締役専務)  
演題：會津八一と鑑賞陶器の時代  
日時：平成25年11月9日 (土) 午後2時～3時30分  
会場：クロスパルにいがた  
受講料：500円  
定員：150名

文芸講演会① 講師：馬場あき子氏 (歌人)  
演題：「新百人一首」に選ばれた會津八一の短歌について  
日時：5月24日 (金) 午後2時30分～  
会場：新潟市芸術文化会館 能楽堂  
定員：350人

文芸講演会② ※京都市との観光文化交流宣言調印記念  
講師：興膳宏氏 (京都大学名誉教授)

演題：「酒と漢詩について」

日時：未定

会場：未定

定員：未定

- イベント ※「會津八一と酒の文化」展関連 朗詠または詩吟  
講師：未定  
演題：「會津八一が愛した漢詩を朗詠、詩吟する」  
日時：未定  
会場：未定  
定員：未定

(エ) 学習講座(会費で充当)

會津八一の歌を読む会

講師：若月忠信氏 (敬和学園大学教授)

日時：毎月第1土曜日 午後1時30分～3時

会場：砂丘館

(オ) 鑑定会 春秋2回を予定

〈春の部〉 日時：平成25年4月または5月 午後1時～3時

会場：會津八一記念館

(カ) アウトリーチ活動

○ 「学規」朗唱運動

會津八一の作品を所蔵している小学校や中学校を対象に、全校生徒が會津八一の「学規」4カ条を習慣として朗唱するよう働きかけたい。

○ 出前講座

市政トーク便をはじめ、団体鑑賞でよく記念館を利用している学校、公民館、サークル、団体からの依頼に応じて実施する。

(キ) ※他団体との関連イベント

○ 「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展

- ・早稲田大学會津八一記念博物館 平成25年4月1日～7日
- ・奈良県立図書情報館 平成25年5月21日～6月2日
- ・相国寺承天閣美術館 平成25年6月7日～9月29日
- ・胎内市會津八一記念事業実行委員会 平成25年10月中
- ・奈良県斑鳩町 平成25年11月予定

○ 箏曲宮城会主催 會津八一記念館協賛

宮城道雄生誕120年記念 講演と演奏の会 「會津八一と宮城道雄」—伝統と革新—

日時：平成25年6月23日(日) 午後2時開演(1時30分開場)

会場：新潟市音楽文化会館ホール

料金：2,500円 全自由席

○ 秋艸会主催 旅行企画「會津八一の足跡を訪ねる旅」

日時：未定

参加者負担